

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	家族、担当職員、計画作成者合同でのケアプランに関する説明と家族の意向と一緒に検討する	担当職員が中心となり、利用者の日頃の様子を報告、課題と一緒に考える	ADL低下の利用者を優先して、話し合いの機会を設ける。食事量低下時はどのように栄養補給をするのか家族の意向とご本人の嗜好などを検討する	12ヶ月
2	10	職員間の情報共有の方法を検討する	担当職員、計画作成者が中心となり、ご利用者や家族の意向を踏まえたプランを検討する	プランに基づき、どのように支援していくのか、全職員に周知したうえで、方向性を決めていく。職員会議以外でどのように共有化をするか検討	12ヶ月
3	4	高山村福祉課との連携 協力体制をつくる	村主催の研修会に参加 オレンジプランなど、法人全体で参加、協力できるようにする	GH職員の認知症サポーターが中心となり、法人内で参加できる体制を作っていく	12ヶ月
4	2	地域との交流	高山村の自然を楽しみ、地域の施設を利用する事で外出の機会を作る	高山村の四季を感じながら、気候に応じた外出や散歩を楽しみ、気分転換をはかる	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。